

- ・お互いを認め合い、助け合う
- ・よく考え、共に学び合う
- ・進んで体をきたえる ・ねばり強く



今年は一気に暖くなり学校の桜も開花し始めました。先日、25日(火)には令和 6年度の修了式を迎え、体育館で一人一人の表情や式に向かう態度を見ながら改めて、子ども達の1年間の体と心の成長を感じました。保護者の皆様には御理解と御協力を頂き、改めて心より感謝申し上げます。春休み中は、引き続き、御家庭でもお子様の体調の管理に十分気を付けてお過ごしいただき、また始業式に元気な姿を先生方に見せてほしいと思います。

○校長の思い① 「夢を抱いて…」「よき出会いを…」



令和6年度卒業証書授与式

3月19日(水)、雨からみぞれ、そしてみぞれが雪に変わる中、令和6年度卒業証書授与式を執り行いました。私も参加された皆さんも雪の中の卒業式となり、思い出に残る日になったのではないのでしょうか。

「卒業証書授与」ではとても落ち着いた態度で、一人一人しっかりと前を向き、立派に 証書を受け取っていました。「別れの言葉」では気持ちのこもった呼びかけと、きれいで素敵な歌声を会場いっぱいに響かせてくれました。特に合唱では、歌を進めていくほど気持ちが歌に乗り移り、声が幾重にも重なり本当に素敵な時間と空間になりました。校長式辞では、「夢を持つこと」と「よき出会いを」という話をしました。しっかりと私の目を見て話を聞く姿勢からは、卒業生の自覚と誇りが伝わってきました。よき出会いをしながら、未知の可能性を開花させ、夢の実現に向かって前に進んでほしいと思います。113名の卒業生一人一人が、信篤小学校で学んだことを力にして、中学校でも大きく成長してくれることを職員一同、心から願っています。



○校長の思い② 「底力(そちから)」をもって大きく育て信篤っ子



令和6年度修了式

3月25日(火)に修了式が行われました。昨年度と同様に、校長の最後の話として「底力(そちから)」という言葉を紹介しました。新型コロナウイルスが広がり、学校でのいろいろな活動ができない時に、テレビのコマーシャルの中で使われていた言葉ですが、この「底力」を「うまくいかない時に、それでも続ける努力」と言っています。私は、信篤っ子には、一人一人、それぞれの底力があると思っています。そして、底力をもっともっとつけてほしいと思っています。うまくいかない時に、それでも努力し続ける底力を持って、子ども達には前に進んでほしいと願っています。